

# MAX<sup>®</sup>

# 取扱説明書

プロ用

このたびは、マックスレーザ墨出器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

## 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
  - レーザ光を直接見たり、レーザ射出口をのぞきこまない。
  - 光学機器でレーザ光を直接見ない。
  - レーザ光を人体に当てない。
  - 異常を感じたら絶対に使用しない。
  - 本機を絶対に分解・改造しない。
- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

マックス レーザ墨出器

*LineKeeper*  
ラインキーパー

LA-S801

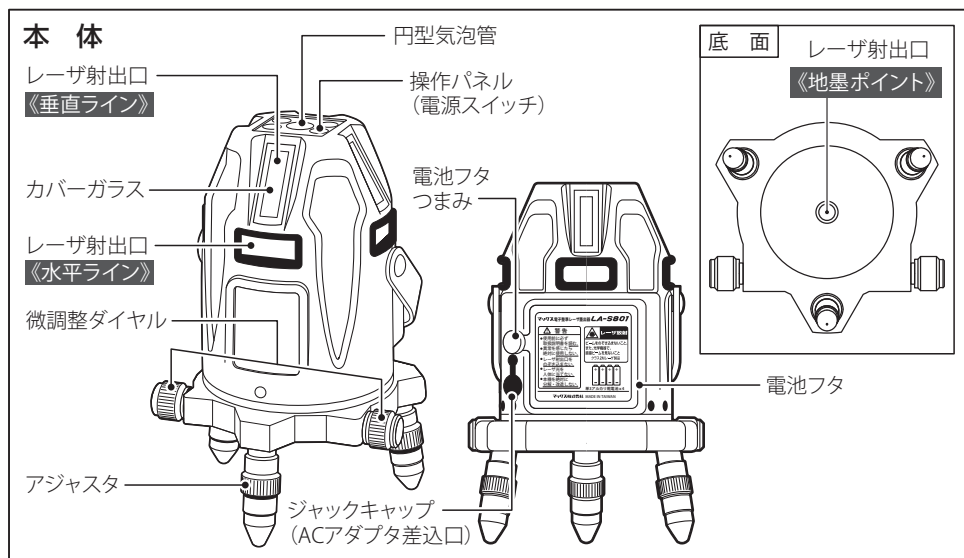


対応受光器 LA-D5

# 目次

各部の名称	1
安全作業のために	3
仕様及び付属品	6
ご使用になる前に	7
単3ニッケル水素充電電池・単3アルカリ乾電池で使用する場合	7
ACアダプタで使用する場合	8
電源のON・OFF (入れ方・切り方) について	8
使用方法	9
各機能について	12
精度の確認	15
垂直ラインの確認	15
水平ライン精度 (左右傾き) の確認	16
水平ライン精度 (上下仰角) の確認	17
鉛直点精度の確認	18
大矩・通り芯精度の確認	19
故障かなと思ったら	20
保証、アフターサービスについて	20
保証について	20
アフターサービスについて	20
全国販売拠点、サービス拠点一覧	裏表紙

## 各部の名称



## 操作パネル

### ①電源スイッチ

- 「短押し」:電源スイッチON/OFF  
(電源LEDミドリ点灯)  
「長押し」(約2秒):照射ライン固定  
(電源LED消灯、自動整準LEDアカ点灯)

### ②電源LED

- 電源が入ると電源LEDミドリが点灯します。  
※電池残量が少なくなると電源LEDがアカ点灯  
に切替り、同時に「ピー、ピー」とブザー音でお  
知らせします。

### ③垂直(タテ)ラインスイッチ

- スイッチを押すことにより、垂直(タテ)ラインの照射方向を次のように切替えることができます。  
垂直1本+地墨ポイント → 垂直3本(大矩・両縦)+地墨ポイント →  
垂直4本(矩十字)+地墨ポイント → 消灯

### ④垂直(タテ)ラインLED

- 垂直(タテ)ライン照射時にミドリLEDが点灯します。

### ⑤水平(ヨコ)ラインスイッチ

- スイッチを押すことにより、水平(ヨコ)ラインの照射方向を次のように切替えることができます。  
水平1本(約110°) → 水平3本(約290°) → 水平4本(360°) → 消灯

### ⑥水平(ヨコ)ラインLED

- 水平(ヨコ)ライン照射時にミドリLEDが点灯します。

### ⑦モード切替スイッチ

- 高輝度(明るい)、受光器、細線(省エネ)の3つのモードに切替できます。

### ⑧モードLED

モードLED色	モード	ライン明るさ
消灯	高輝度(明るい)	明るい
ミドリ点灯	受光器(受光器対応)	中間
ミドリ点滅	細線(省エネ)	ラインが細く、ギラつき軽減(暗め)

### ⑨自動整準LED

電子整準LED色	状況
ミドリ点灯	自動整準完了
ミドリ点滅	自動整準中
アカ点灯	ライン固定



# ⚠ 安全作業のために

## ■ 表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**⚠ 警告**、**⚠ 注意**、**ご注意** に区分してありますが、それぞれ次の意味を表します。



**警告**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



**注意**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**ご注意**

製品、付属品の取り扱い及びメンテナンスなどに関する重要なご注意。

## ■ 安全上のご注意

本機はレーザー光を射出します。レーザー安全基準 (JIS C6802:2011) のクラス2Mに準拠していますが以下の内容に注意してご使用ください。

### ⚠ 警告

レーザー光を直接見たり、レーザー射出口をのぞきこまない。眼を傷める恐れがあります。  
光学器具で直接レーザー光を見ない。望遠鏡やルーペなどでレーザー光を直接見ると危険です。

レーザー光路は眼の高さを避ける。

レーザー光路に立ち入らない。

レーザー光路に反射物を置かない。

レーザー光を他の人に向けない。

幼児や子供の手の届く場所には保管しない。

異常を感じたら絶対に使用しない。

本機を絶対に分解・改造しない。本機を分解・改造すると故障、感電の原因となります。

※レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

障害が疑われる場合は速やかに医師の診断を受けてください。

# ⚠ 安全作業のために

## ⚠ 注意

**使用前使用後には、必ず精度確認をする。**

使用前使用後に必ず精度確認を行ってください。精度確認を怠ると、故障による誤測定の原因になります。詳しくは、P15『精度の確認』をご覧ください。

**故障したまま、本機を使用しない。**

故障したらすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へお申し付けください。詳しくは、P20『故障かなと思ったら』をご覧ください。

**倒したり、落としたり、ゆらしたりしない。**

本機に強いショックをあたえないでください。また、故意にゆらしたり、振動をあたえないでください。精度不良や故障の原因になります。過度な振動、衝撃が加わった場合には精度確認の点検を行ってください。精度不良になっている場合はお買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ修理・点検をお申しつてください。

**水などに濡らさない。**

電気部品がショートして故障の原因となります。

※本機はいかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けないJIS保護等級の4に適合していますが、噴流水や長時間の浸漬・水没に対する保護等級ではありません。

**本機を移動させる場合は、電源スイッチをOFFにする。**

電源スイッチをOFFにすると同時に、本体内部がロックされます。

**運搬する場合はキャリングケースに入れる。また、横倒ししない。**

キャリングケース収納時も強いショックや振動をあたえないでください。車で移動の場合は、助手席のシートの上に置き、動かないよう固定してください。また、送る場合は輸送用外箱に入れてお送りください。

**次のような場所には放置しない。**

- 直射日光があたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ（-5~40℃の範囲でご使用ください）
- ダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内
- 磁気を帯びたところ
- ホコリの多いところ
- 振動の多いところ
- 濡れたところや湿気の多いところ

## ⚠ 安全作業のために

### ⚠ 注意

本機のカバーガラスが汚れていないか確認する。

本機のカバーガラスが汚れていると、レーザー光が拡散し精度不良の原因となったり、拡散光によって受光器が誤反応する可能性があります。

本機はマックスレーザ受光器LA-D5専用の墨出器です。

他の受光器を使用した場合、検出精度範囲内におさまらないことがあります。

使用しない場合は乾電池を取り出す。

乾電池から液が漏れ出して、故障の原因になります。

使用者への安全教育についてレーザー光の性質、危険性などについて十分理解した上で、使用する。

### ご注意

●以下の条件ではうまく作動しないことがあります。

- ・直射日光、強い照明、蛍光灯のそば
- ・縦ラインと水平ラインの公差部分
- ・窓ガラスや金属・鏡などの高反射面のそば
- ・受光器が墨出器に真っ直ぐ向いていない

## ■ 管理上のご注意

### 結露について

寒いとき、暖房をつけた直後など、本機内部に露（水滴）がつき、作動しないことがあります。そのまま数時間放置すると正常に作動します。何時間たっても作動しない場合は、お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へお申し付けください。

### お手入れについて

- ・カバーガラスが汚れると、ライン光が暗くなります。また、レーザー光が拡散したりし、精度不良の原因となります。カバーガラスが汚れている場合は、市販のレンズクリーナーで拭き取ってください。
- ・本体の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。シンナ等の溶剤では絶対に拭かないでください。その際、カバーガラスを強く押さない様に気をつけてください。

### 保管について

- ・必ずキャリングケースに入れて保管してください。また、本機をキャリングケースに収納する時は、本体脚、ベース部円型気泡管、微調整ダイヤルなどをケース内の形状と位置合わせし、固定した状態で収納してください。
- ・高温、多湿、振動、埃の多いところを避けて保管してください。
- ・長期間使わない場合は電池をはずしてください。

# 仕様及び付属品

## 本 体

品 名	マックス 電子整準レーザ墨出器		
商 品 記 号	LA-S801		
寸 法	(H)210×(W)140(微調整ダイヤル含む)mm		
質 量	1.5kg(電池含む)		
動 作 温 度	-5~40℃(結露のないこと)		
防 塵 ・ 防 滴 性	IP54相当		
電 源	単3ニッケル水素充電電池4本、単3アルカリ乾電池4本、 またはAC100V(専用ACアダプタ)		
全ライン 連続使用时间*1		単3ニッケル水素充電電池	単3アルカリ乾電池
	高輝度	約3時間	約1時間
	受光	約4時間	約2時間
	細線 (省エネ)	約7時間	約5時間
電池残量警告	電源LEDアカ点灯 同時に「ピー、ピー」ブザー音*2		
付 属 品	取扱説明書、保護メガネ、単3ニッケル水素充電電池4本、 単3アルカリ乾電池4本、充電器、ACアダプタ、キャリングケース、 キャリングベルト、Lターゲット		

\*1 連続使用時間は使用状況・環境により変化することがあります。

\*2 電池残量が少なくなると電源LEDがミドリ点灯からアカ点灯に変わり、「ピー・ピー」とブザー音が鳴ります。電源LEDがアカ点灯に変わったら早めに電池を交換してください。

## レーザ

投 射 光 源	可視半導体レーザ		
波 長	ライン波長 635nm 地墨ポイント波長 650nm		
出 力	垂直・水平ライン:4.8mW (クラス2M)		
自 動 補 正 範 囲	±3° ※自動補正範囲外の場合は、レーザ光が点滅し、ブザー音でお知らせします。		
水平ライン指示精度	±1.0mm/10m		
垂直ライン指示精度	±1.0mm/10m		
鉛直点指示精度	±1.0mm/5m		
大矩指示精度	90°±0.01°		
制 動 方 式	電子整準		
垂 直 ラ イ ン 射 出 角	約130°/ライン		
水 平 ラ イ ン 射 出 角	約110°/ライン(360°全周)		
ラ イ ン 幅	2.5mm/5m		
使 用 距 離	15m(受光器LA-D5使用時25m)		
パルス 発光性能	デューティ比	約50%(受光器モード)	
	周波数	10kHz(受光器モード)	

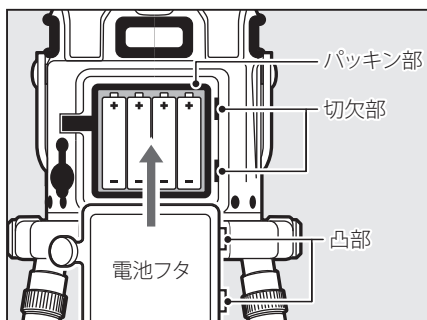
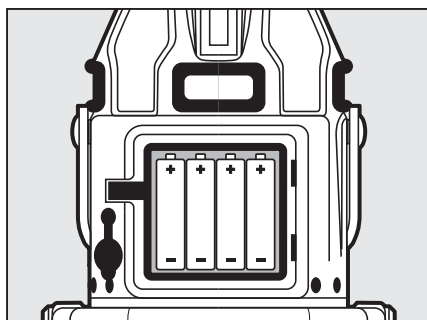
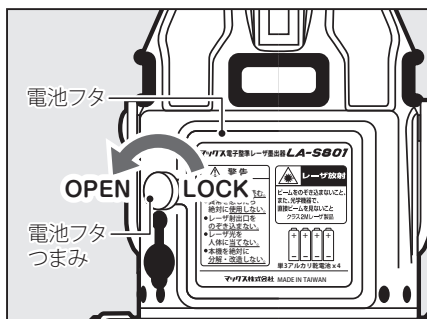
# ご使用になる前に

## 単3ニッケル水素充電電池、単3アルカリ乾電池で使用する場合

### ⚠ 注意

種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。  
電池交換の際は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。

- ①電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
- ②電池フタつまみを左回し(反時計回り)に回し、電池フタを開けます。
- ③新しい単3ニッケル水素充電電池4本または単3アルカリ乾電池4本を電池ボックスフタの極性表示(+) (-) に合わせ正しく入れてください。  
※必ず新品の電池をご使用ください。
- ④パッキン部に異物が無い事を確認して、電池フタ凸部を電池ボックス切欠部に合わせます。そして、電池フタを本体にセットし、電池フタつまみを右回し(時計回り)で回して固定してください。



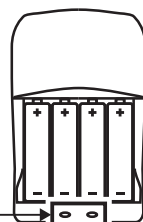
### 〈充電器について〉

### ⚠ 警告

- この充電器はマックス墨出器用ニッケル水素充電電池以外には使用しない。
- 指定電圧以外の電源は使用しない。
- 電池の+、-を逆にして充電しない。
- 分解、改造しない。

### 〈充電器のLED表示〉

ア カ: 充電中  
ミドリ: 充電完了  
※充電時間は約7時間です。





## ACアダプタで使用する場合

### ⚠ 警告

付属のACアダプタ以外は使用しない。

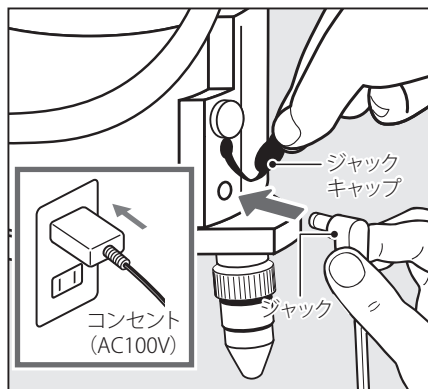
本機が故障したり、火災の原因になります。

ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜く。

表示された電源電圧 (AC100V) 以外の電圧で使用しない。

本機が故障したり、火災の原因になります。

- ①本機電池フタ左側のジャックキャップ (ACアダプタ差込口) を開け、ACアダプタのジャックをしっかりと差し込みます。
- ②ACアダプタのプラグをコンセント (AC100V) に差し込みます。
- ③使用後はACアダプタのジャックを取り外し、ジャックキャップをしっかりとはめ込んでください。



## 電源のON・OFF (入れ方・切り方) について

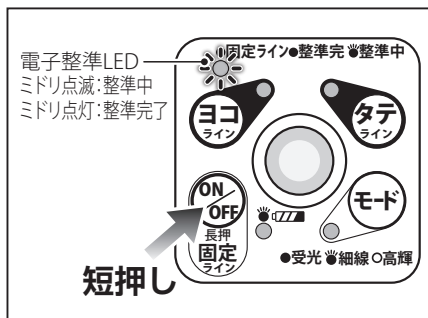
本機天面の操作パネルの **ON/OFF** スイッチを「短押し」すると電源がONになります。

再度、**ON/OFF** スイッチを「短押し」すると電源がOFFになります。

### ⚠ 注意

- 使用しない時、本機を移動させる時は、必ず **ON/OFF** スイッチをOFFにしてください。

**ON/OFF** スイッチをOFFにすると本体内部がロックされ精度不良になりにくくなります。



## 電池交換時期表示機能

電池残量が少なくなると電源LEDがミドリ点灯からアカ点灯に変わり、「ピー・ピー」とブザー音が鳴ります。電源LEDがアカ点灯に変わったら早めに電池を交換してください。

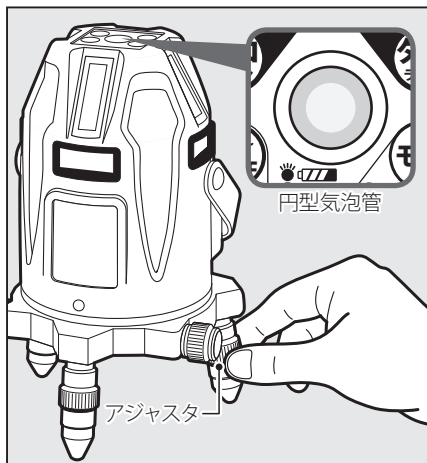
# 使用方法

## ⚠ 注意

●使用前、使用後は、『精度の確認』(P15)を参照し、必ず精度の確認を行ってください。

### ①本機を水平にします。

本機の円型気泡管の気泡が円印の中心にくるように脚のアジャスタ3本を回して水平にします。



### ②電源スイッチをONにします。

 スイッチをONにしてください。

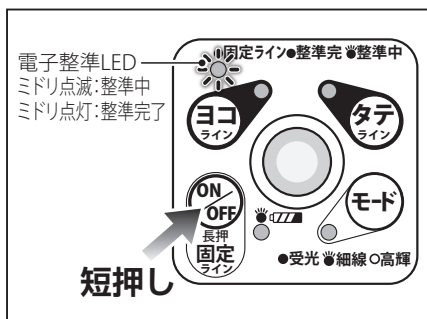
### ③整準が完了したことを確認します。

電子整準機構により自動で整準します。

整準中は自動整準LEDがミドリ点滅し、整準が完了すると自動整準LEDがミドリ点灯します。

自動補正範囲(±3°)を超え整準が完了しない場合は、レーザー光が点滅し、ブザー音が鳴ります。

再度、脚のアジャスタなどを回して調整してください。



#### ④照射ラインを選定します。

##### ・垂直(タテ)ラインスイッチ

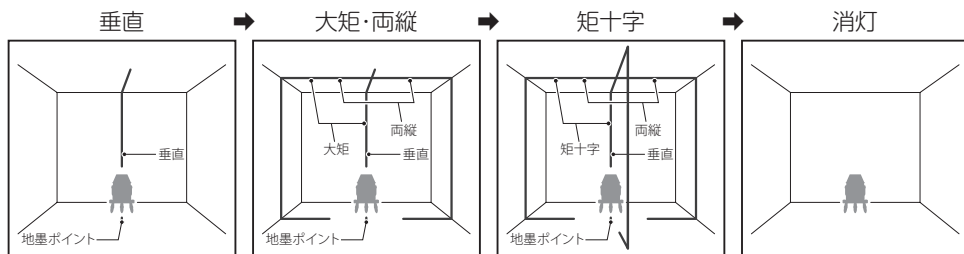
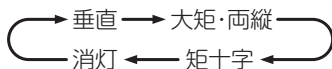
**タテ** スイッチを押すことにより、

垂直(タテ)ラインの照射方向を次のように切替えることができます。

垂直1本 → 垂直3本(大矩・両縦) →

垂直4本(矩十字) → 消灯

※地墨ポイントは、垂直(タテ)ライン照射時に照射します。



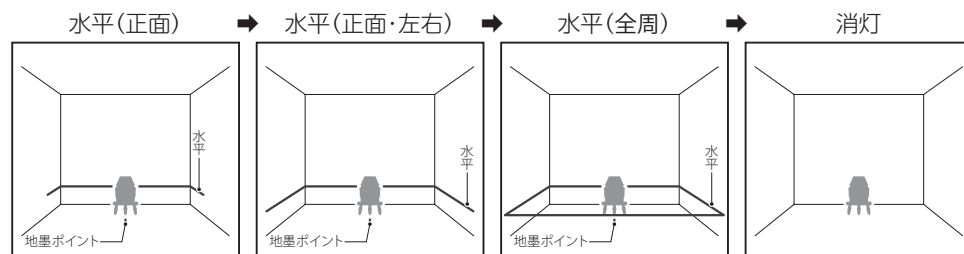
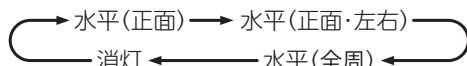
##### ・水平(ヨコ)ラインスイッチ

**ヨコ** スイッチを押すことにより、

水平(ヨコ)ラインの照射方向を次のように切替えることができます。

水平1本(約110°) → 水平3本(約290°) →

水平4本(360°) → 消灯



# 使用方法(つづき)

⑤モード(明るさ・受光器対応)を選定します。

**モード**を短押しすることで作業環境に応じた輝度(明るさ)に設定できます。



## ご注意

●受光器をご使用の際は、本機のモードを「受光」に設定してください。

モードLED色	モード	ライン明るさ	ライン太さ	作業環境
消灯	高輝度(明るい)	明るく照射	標準	一般的な屋内
ミドリ点灯	受光器(受光器対応)	高輝度と細線の間	高輝度と細線の間	明るい場所
ミドリ点滅	細線(省エネ)	減光照射(暗め)ギラつき軽減	細め	暗い場所

※本機は、電源OFF時のモードを記憶するメモリ機能を搭載しています。

電源ON時は前回電源OFF時のモードで照射します。

※細線(省電力)モードを使用することにより、消費電力を大幅におさえることができます。

## ■受光器を使用する場合

本機はマックスレーザ受光器LA-D5を使用して頂く事で、レーザ光の見えづらい明るい箇所でもレーザ光を受光できます。モード切替スイッチを受光モードに設定し使用してください。

## 各機能について

### ■自動整準機構

電子2軸センサー方式により揺れや振動の多い作業現場でもレーザー光が安定します。

### ■整準モード切替 (標準モード・制振モード)

標準モード:一般的な作業現場の時にご使用ください。

制振モード:この制振モードは、標準モードに比べ小さな振動には反応しなくなり、頻繁に再整準することが少なくなります。

微振動が絶えず発生している作業現場では作業効率が向上します。

(使い方)

**モード** を「3秒以上長押し」するとブザー音が

鳴り (電源LEDミドリ点滅)、

制振モードに切替ります。

標準モードに戻す場合は、再度 **モード** を

「3秒以上長押し」することで戻ります。

※制振モード設定時、解除時は、照射モード

(高輝度・受光・細線)が変更します。

設定時、解除時は、ご使用になりたい照射

モードに再設定の上、ご使用ください。



## ⚠ 注意

●耐震モードは、センサーの感度を下げることで再整準しにくくしています。

そのため、ゆっくりとした揺れや傾きなど状況によってはマーキング精度に影響が生じることがあります。

# 使用方法(つづき)

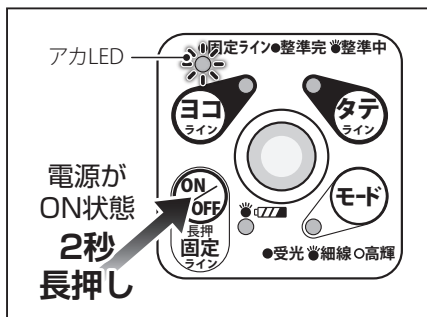
## ■ライン固定モード

照射ラインを任意の角度に傾斜させたい場合などにラインを固定することができます。本機をエレベータ三脚などに取り付けてご使用ください。

(使い方)

電源がON状態で  スイッチを長押し

(約2秒)すると「ピッ」とブザー音が鳴り垂直(タテ)ライン1本と水平(ヨコ)ライン360°の照射ラインが照射され、固定されます。(自動整準LED:アカ点灯)








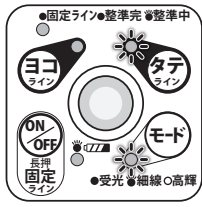



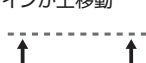


(微調整の方法)

固定ラインの微調整は、下記の方法で調整できます。

微調整したい方向のスイッチを押し(LED点灯させ)た状態にします。

その状態で微調整したい方向のスイッチを押すことで微調整が可能です。

LED	スイッチ			ライン	
	ヨコ	タテ	モード	ヨコ	タテ
	 押す	—	—	ラインが左傾斜 	ラインが左傾斜 
	—	 押す	—	ラインが右傾斜 	ラインが右傾斜 
	—	 押す	—	ラインが下移動 	—
	—	—	 押す	ラインが上移動 	—

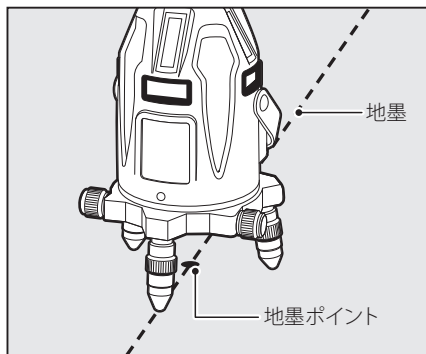
再度  スイッチを長押し(約2秒)すると元に戻ります。

### ⚠ 注意

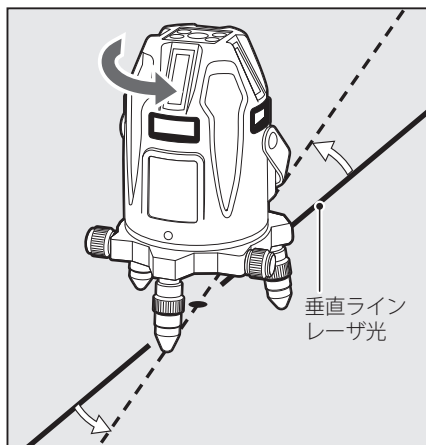
●ライン固定モードは、整準機能を停止させています。本機を回転させたり、エレベータ三脚を動かしたりすると精度が保持できなくなります。

## ■微調整ダイヤルの使い方 (垂直ラインを使用する場合のみ)

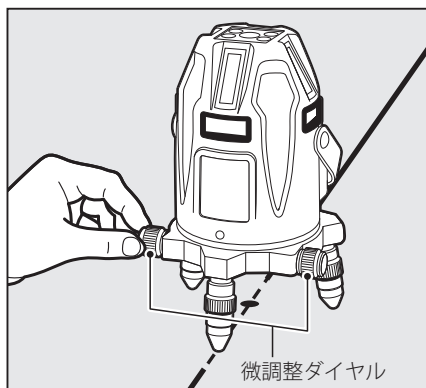
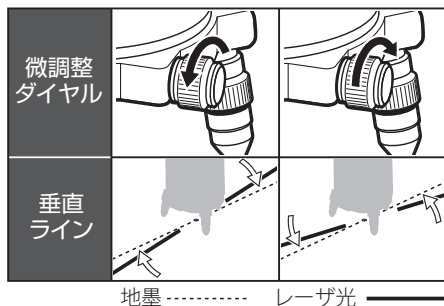
- ①垂直ラインを使用する場合、下部地墨ポイントを地墨に合わせるように本機を設置します。



- ②下部地墨ポイントと垂直ラインレーザ光を地墨に合わせるように本機を回転調整します。



この時、微調整ダイヤルを使用すると簡単に確実に合わせることができます。



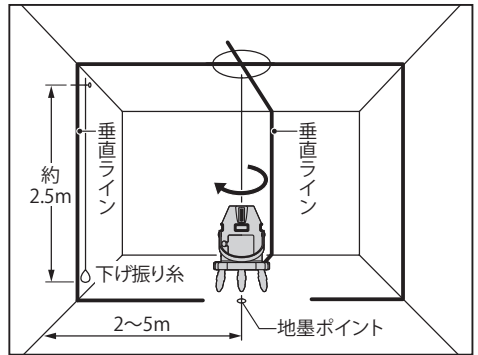
# 精度の確認

## ⚠ 注意

- 使用前、使用後には必ず精度確認を行ってください。  
精度確認により、故障による誤作動を防ぎます。  
精度不良になっている場合はお買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリング&サービスファクトリー（株）へ修理・点検をお申しつください。
- 使用時、精度確認時は、本機の円型気泡管の気泡が円印の中心にくるように脚のアジャスタ3本を回して水平にしてください。

## 垂直ライン精度の確認

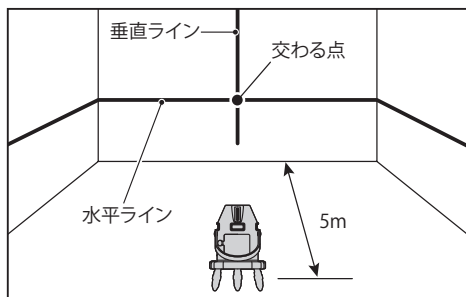
- ①「下げ振り」を約2.5mの高さから振り下げます。
- ②下げ振り糸から約2～5m離れた距離に本機を設置し、全ての垂直ラインを照射します。
- ③垂直ラインを糸に合わせ、糸全域に照射されていれば正常です。
- ④本機を回転させ、他の垂直ラインについても確認してください。



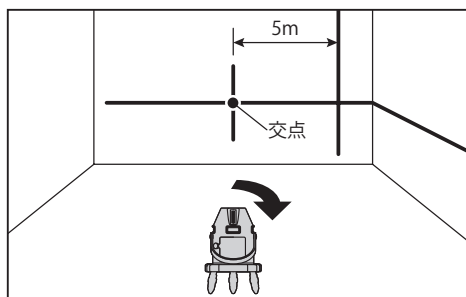


## 水平ライン精度 (左右傾き) の確認

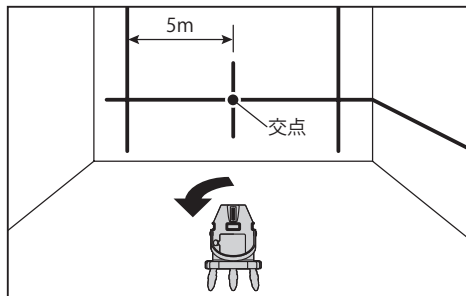
- ① 壁から5m離して本体を設置し、垂直ラインと水平ラインを正面に照射します。
- ② 垂直ラインと水平ラインの交わる部分を中心に5cm程垂直ラインを野掛き、その中心点をマーキングします。



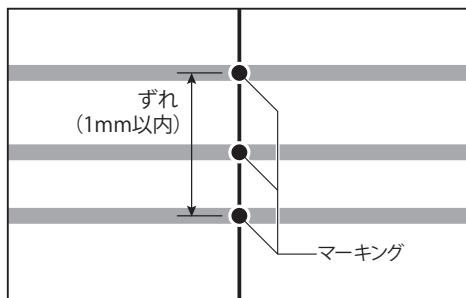
- ③ 本体を右に回し、垂直ラインを5m右に動かし、「②」で野掛いた垂直ラインと水平ラインの交わる点をマーキングします。



- ④ 本機を左に回し垂直ラインを正面に戻し、更に垂直ラインを5m左に動かし、「②」で野書いた垂直ラインと水平ラインの交わる点をマーキングします。



- ⑤ 「②③④」でマーキングした3つの点のずれが水平ライン1mm以内であれば、指示精度の範囲内であり正常です

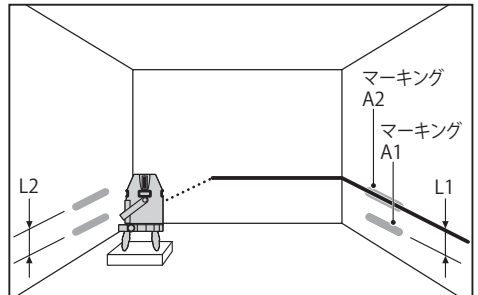
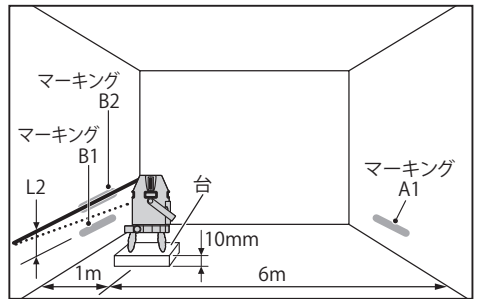
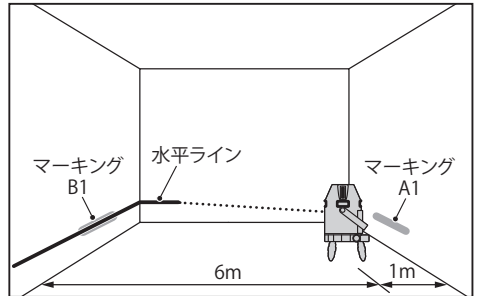
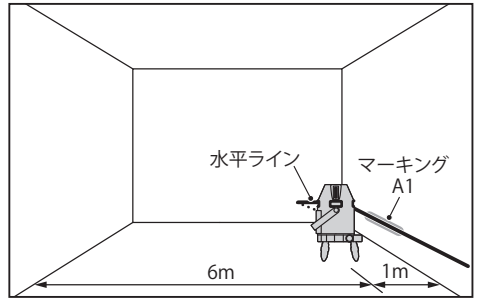


- ⑥ 「①～⑤」の手順で他の水平ラインも確認してください。

# 精度の確認(つづき)

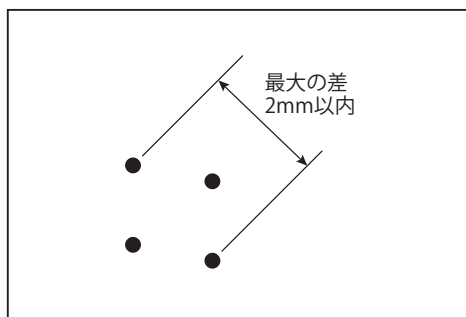
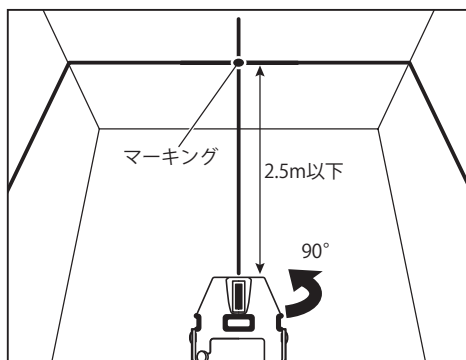
## 水平ライン精度(上下仰角)の確認

- ①左右の壁の間隔が約7mある部屋の右壁面から1m離して本機を設置し、水平ラインを照射します。
- ②右壁面に照射された水平ライン中央部にマーキングA1(横線)します。
- ③本機を180°回し、左壁面に水平ラインを照射し、水平ライン中央部にマーキングB1(横線)します。
- ④本機を左壁面から1m離して10mm以上の台の上に設置し、水平ラインを照射します。
- ⑤左壁面に照射された水平ライン中央部にマーキングB2(横線)し、B1とB2の間隔(L2)を測定します。
- ⑥本機を180°回し、右壁面に水平ラインを照射し、水平ライン中央部にマーキングA2(横線)し、A1とA2の間隔(L1)を測定します。
- ⑦L1(A1とA2の間隔)とL2(B1とB2の間隔)の差の半分が1mm以内であれば正常です。
- ⑧「①～⑦」の手順で他の水平ラインも確認してください。



## 鉛直点精度の確認

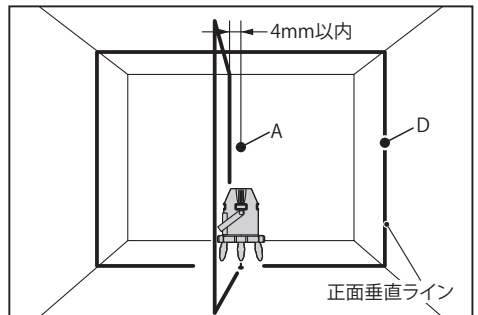
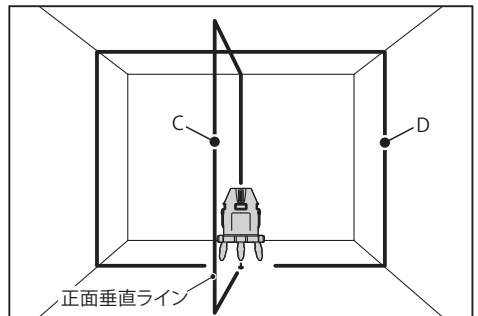
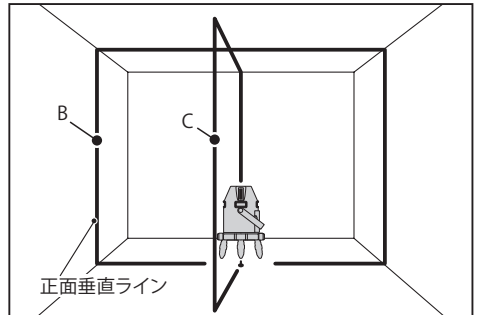
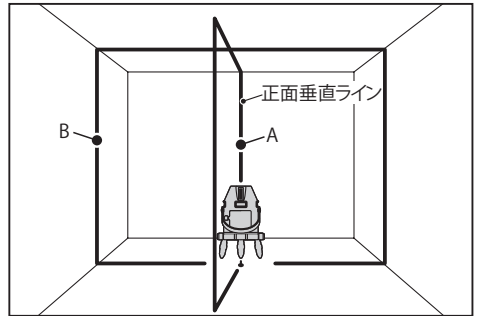
- ①天井面が本機から2.5m以下の高さになるように本機を設置し、天井面に十字ライン（鉛直点）を照射します。
- ②天井面に照射されている十字点（鉛直点）の位置をマーキングします。
- ③本機を右に90°回し、十字点（鉛直点）の位置をマーキングします。
- ④「③」をさらに2回繰り返します。
- ⑤マーキングした4つの点の最大の差が2mm以内であれば正常です。



# 精度の確認 (つづき)

## 大矩・通り芯精度の確認

- ① 間隔が5mぐらいある四方壁面の中心の床に本機を設置し、壁面に垂直ラインを全て照射します。
- ② 正面壁面に照射された垂直ライン中心部にマーキング (A) し、左壁面に照射された垂直ライン中心部にもマーキング (B) します。
- ③ 本機を左に90°回転し、左壁面のマーキング (B) に正面垂直ラインを合わせ、背面壁面に照射された垂直ライン中心部にマーキング (C) します。
- ④ 「③」同様に本機を左に90°回転し、背面壁面のマーキング (C) に正面垂直ラインを合わせ、右壁面に照射された垂直ライン中心部にマーキング (D) します。
- ⑤ 最後に本機を左に90°回転し、右壁面のマーキング (D) に正面垂直ラインを合わせます。この時、正面壁面に照射された垂直ラインと、マーキング (A) のずれが4mm以内であれば、正常です。
- ⑥ 同じ手順で他の垂直ラインも確認してください。



# 故障かなと思ったら

## 故障かな？

修理をご依頼される前に、次のことを確認してください。

状況	確認内容
レーザー光がでない	・電池は消耗していないか ・電池の入れ方は正しいか ・円型気泡管の赤丸の中に気泡が入っているか ・ACアダプタが確実にAC100V電源に差し込まれているか
レーザー光が暗い	・カバーガラスは汚れていないか ・電池は消耗していないか ・電池の入れ方は正しいか ・受光器モード、細線(省電力)モードになっていないか
衝撃を与えた場合	精度の確認をご覧ください。(P15参照)

上記の方法で、解決できない場合は故障です。下記『故障したときは』をご覧ください。

## 故障したときは

修理をご依頼される前に、上記の『故障かな？』を見て故障かどうかを確認してください。

- 『故障かな？』の方法で解決出来ない場合は「保証書兼盗難・火災保険被保険者証」のコピーを添えて修理をご依頼ください。なお、「保証書兼盗難・火災保険被保険者証」のコピーが添付されていない場合は、保証期間内でも有料となる事があります。
- 本機と「保証書兼盗難・火災保険被保険者証」をケースに入れ、運送用外箱に入れお買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ点検・修理にお出しください。

# 保証、アフターサービスについて

## 保証について

- 本機には保証書(梱包箱に添付)がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
- 当商品は精密電子部品を使用しています。外部からの強い衝撃により精度不良となる恐れがあります。お取扱及び保管には十分に注意してください。尚、お客様が本取扱説明書に記載された警告及び注意に従わないことに起因して、損害が発生した場合には、当社はその責任を負いません。ご了承ください。

## アフターサービスについて

- 本機の修理、精度が悪いときなどは使用を中止して、お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にご相談ください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご希望により有償修理させていただきます。





●マックスお客様ご相談ダイヤル

 0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

## マックス株式会社

本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL (03) 3669-8121(代)

### 支店・営業所

札幌	支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141(代)
仙台	支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 236-4121(代)
盛岡	営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL (019) 621-3541(代)
新潟	支店	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112(代)
東京	支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8118(代)
群馬	営業所	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075(代)
長野	営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377(代)
関東	営業所	〒300-0811	土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322(代)
千葉	営業所	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL (043) 422-7400(代)
名古屋	支店	〒462-0819	名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619(代)
静岡	営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535(代)
大阪	支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (06) 6444-2035(代)
京都	支店	〒612-8414	京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061(代)
神戸	営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6-2-4	TEL (078) 367-1580(代)
広島	支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331(代)
福岡	支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092) 411-5416(代)
南九州	営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347(代)

### 販売関係会社

埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661(代)
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1873(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599(代)

### マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820(代)
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 237-0778(代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (06) 6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092) 451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4011935  
150304-00/00



### 便利メモ

お名前				商品名 LA-S801
お買い上げ日	年	月	日	製造番号
販売店名				☎